

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成29年10月5日

①学校名:	ビジネス・ブレイクスルー大学	②所在地:	東京都千代田区六番町1-7 Ohmae@workビル (大学事務局)千代田区二番町3番地麴町スクエア2階				
③課程名:	経営学部履修証明プログラム(英語(Listening&Reading))	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2017/4/1		
⑥責任者:	副学長(学部担当)・学部長 宇田左近	⑦定員	若干名	⑧期間:	6か月		
⑨申請する課程の目的・概要:	ビジネスで結果を出すための実践的な英語を、ListeningおよびReadingの観点から体系的に学ぶ						
⑩4テーマへの該当の有無	・女性活躍 ・非正規労働者のキャリアアップ	⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者				
⑫対象とする職業の種類:	企業・各種団体における、経営を含む管理職業務、マネジメント業務を中心とする、社会人一般						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 英文ビジネスEメールの書き方、英語プレゼン、ディスカッション、会議・電話での英語交渉など、仕事で実践的に英語を用いるための基礎			(得られる能力) ビジネスで結果を出すための実践的な英語能力(リスニング、リーディング中心)			
⑭教育課程:	「Essential English Reading」では、英書を完読し、筆写と音読による体を使った英語学習方法を培う。「Essential English Listening」では、英語運用能力の根幹となる「聴く力」を鍛えることで、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションを円滑にする素地を築く。「English Grammar」では、英語の基礎的な語彙を使いながら語順、文型、時制など文章を構成する主要項目を学び、リスニングとリーディングの型を培う。そして「Business English Basics」では、英文ビジネスEメールの書き方、英語プレゼン、ディスカッション、会議・電話での英語交渉など、仕事で実践的に英語を用いるための基礎を網羅的に身に付けていく。 上記科目を通して、ビジネスで結果を出す英語の能動技能を体系立てて段階的に身に付けることができる。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	270時間の学修を行い、各科目のオンラインディスカッションに参加する。更に「Business English Basics」については課題および最終試験、「English Grammar」については課題および中間・最終試験、「Essential English Listening」については課題および最終試験、「Essential English Reading」については受講レポートと最終試験を課し、学修成果を総合的に判定する。その判定は⑳に記載する方法にて行う。						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部履修証明プログラム「英語(Listening&Reading)」修了認定証						
⑰総授業時数:	270 時間	⑱要件該当授業時数:	270時間	該当要件	双方向実務家	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	本プログラムを構成する講義科目の成績は100点満点をもって評価し、60点以上を合格とする。この場合、次の区分によりA+、A、B、C、Fの評語をもって表し、A+、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。A+・・・100点～90点 A・・・89点～80点 B・・・79点～70点 C・・・69点～60点 F・・・59点以下						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条を踏まえ、公益財団法人日本高等教育評価機構の点検・評価項目に沿って自己点検・評価を行う。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	学士課程の講義科目を体系的に構成したものであるため、成績評価を学士課程における成績評価と同等の基準により行う。また、修了者に対し、次の2つを実施し、その結果より効果検証を行う。 1. 「卒業後の進路・担当業務」に関するアンケート 2. 「課程を修了することによって得られた能力」に関する自己評価						

<p>⑳企業等の意見を取り入れる仕組み:</p>	<p>(教育課程の編成)          企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を年2回実施し、同会議の中で本学の教育課程の編成等に関して意見・評価・提言を行う。          また、外部の企業経営者等の有識者を複数名招き、本学教職員も参加する「コンテンツ会議」を隔月で開催し、外部人材からは現在の実業界の課題やトレンド、人材育成の傾向などに関して本学に対して提言がなされている。また今後は年に2回程度、コンテンツ会議内で本学の教育課程そのものについて直接的に提言がなされる。          「第三者評価会議」並びに「コンテンツ会議」で討議・提案された内容は、教授会をはじめとした関係機関において教育課程の編成に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて教育課程に反映される。          (自己点検・評価)          企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を年2回実施し、同会議の中で本学の自己点検評価に関して意見・評価・提言を行う。          「第三者評価会議」で討議・提案された内容は、自己点検評価委員会、大学協議会、教授会をはじめとした関係機関において、自己点検評価に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて自己点検評価活動・体制に反映される。</p>
<p>㉑社会人が受講しやすい工夫:</p>	<p>24時間365日オープンなオンラインキャンパス。スマートフォン等でも講義の受講が可能のため、通勤や移動中の隙間時間を使って忙しい社会人でも履修ができる。</p>
<p>㉒ホームページ:</p>	<p>(URL) <a href="http://www.school.ohmae.ac.jp/">http://www.school.ohmae.ac.jp/</a> (経営学部マーケティングページ) <a href="http://bbs.ac/">http://bbs.ac/</a></p>

<p>事務担当者名:</p>	<p>沼尻 恵理</p>	<p>所属部署:</p>	<p>大学事務局</p>
<p>連絡先:</p>	<p>(電話番号) (E-mail)</p>	<p>03-5860-5531 <a href="mailto:academic@ohmae.ac.jp">academic@ohmae.ac.jp</a></p>	

- \* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- \* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。